



財務データでみる北海道大学

# 財務レポート2017



MUSEUM

特集

総合博物館リニューアル



## 目次

総長あいさつ	1
北大の基礎データ	2
北大の平成28事業年度決算概要	3
北大の財務構造	4
収入内訳の推移	5
支出の内訳	7
特集「総合博物館リニューアル」	8
トピックス	10
財務諸表の説明	12
財務指標	15
北大フロンティア基金の取組み	17

## 総長あいさつ

日頃より、北海道大学に対するご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

本学は、今から141年前の1876年に、北海道の開拓の任に当たる人材を育成するため、明治政府が欧米の大学に匹敵する高等教育機関を目指して設立した「札幌農学校」を起源とし、東北帝国大学農科大学を経て、1918年に北海道帝国大学となりました。

札幌農学校は、明治初期に実学の重視を掲げて設立された他の大学とは異なり、アメリカのリベラルアーツ教育が行われ、農学だけでなく数学、化学、生物学から語学、歴史、経済学まで幅広く教養を培うための基礎教育が実施されていました。そこでは、人間形成の基となる「全人教育」のみならず、未踏の学問領域を積極的に探求する「フロンティア精神」、国際性や多様性への柔軟な感受性を育成する「国際性の涵養」、そして、物事の本質を見極め、それを社会に活かす実のある研究を進める「実学の重視」を念頭に置いた教育が実践されました。

開校以来、本学は4つの基本理念である「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」を受け継ぎ、今日に至る長い歴史を刻んでまいりました。その基本理念の一つである「国際性の涵養」に則り、2013年には、高い精神性と異文化理解、コミュニケーション能力を身につけたグローバル人材育成を支援するため、札幌農学校2期生で国際連盟事務次長を務めた新渡戸稲造の名を冠した「新渡戸カレッジ」を開校し、さらに、2015年度からは大学院生向けのプログラムとして「新渡戸スクール」を開校し、世界の課題解決に貢献する北海道大学を目指して、精力的に活動してきております。

一方で、わが国の18歳以下人口の動態変化と基礎的財政収支の不均衡から、大学を取り巻く財政環境は益々厳しいものになっており、国立大学に対する運営費交付金は毎年減額の一途を辿り、本学においてはこれまで毎年1～1.6%の減額が行われています。そのような状況の中、より一層の経費節減、附属病院収入や産学官連携等による自己収入の増収、教員・事務組織の効率化等が急務であるとともに、さらなる競争的資金の獲得に向け全学を挙げて取り組むことはもちろんですが、費用対効果の観点から既存の事業についても精査し必要な改善を行い、限りある財源の有効活用のため不断の努力を重ねてまいります。

本学が持続的に発展し続けるためには、財務の健全性を確保すると同時にその透明性を高め、皆様への説明責任を果たすことが重要であることを踏まえ、例年のとおり「財務レポート 2017」を作成しました。「財務レポート」は、北海道大学が取り組んでいる事業を財務の側面から取りまとめたもので、本学を支えてくださる多くの皆様に、本学の財務状態や経営状態を分かりやすく解説し、広くご理解いただくことを目的としております。皆様には、当レポートの内容をご覧いただき、本学が展開する様々な事業へのご理解と一層のご支援・ご協力を賜れば幸いです。

北海道大学 総長 名和 豊春





# 北大の基礎データ HOKKAIDO UNIVERSITY

学生数 **17,522**人 (平成29年5月1日現在)  
(学部学生 11,436人/博士前期 3,598人/博士後期 2,279人/専門職学位 209人)

教職員数 **4,628**人 (平成29年5月1日現在)  
(役員 8人/教員 2,122人/職員 2,498人)

国際交流  
外国人教職員数 **126**人 (平成29年6月1日現在)  
外国人留学生数 **90**か国・地域 **1,851**人 (平成29年5月1日現在)  
国際交流協定数 **59**か国・地域 **568**本 (平成29年5月1日現在)

病床数 **939**床 (平成29年4月1日現在)

蔵書数 **3,928,257**冊 (平成29年3月31日現在)

学位授与数 **213,506**人 (平成29年5月1日現在)  
(学士 139,165人/修士 48,472人/博士 24,407人/専門職学位 1,462人)

学部数 **12**学部 (平成29年4月1日現在)

研究科・学院数 **3**研究科 **17**学院 **1**教育部 (平成29年4月1日現在)

敷地面積 **660,235,328**m<sup>2</sup> (平成29年5月1日現在)  
(札幌キャンパス 1,776,249m<sup>2</sup>/札幌市内 1,112,319m<sup>2</sup>/函館市内 105,149m<sup>2</sup>/その他 657,241,612m<sup>2</sup>)

東京23区(626km<sup>2</sup>)よりも広いんです!  
札幌キャンパスは東京ドーム38個分!

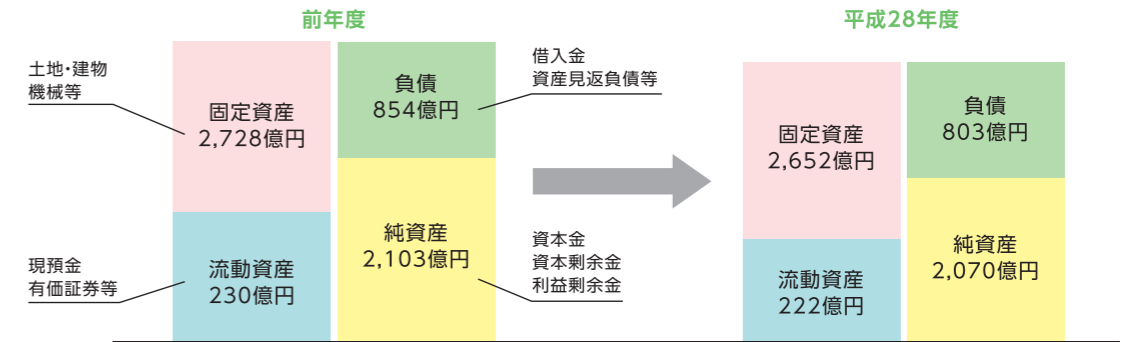
クラーク君



# 北大の平成28事業年度決算概要

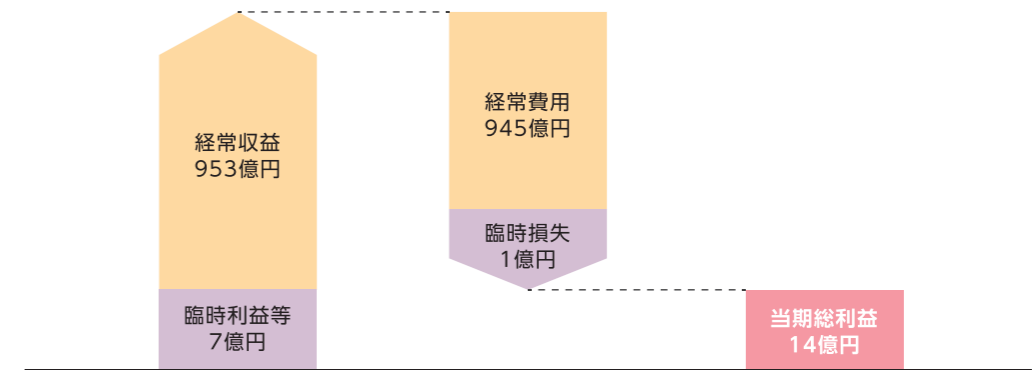
国立大学法人は、毎年度財務諸表を作成して、財務状況や運営状況を明らかにし、文部科学大臣に提出し承認を受けています。主な財務諸表の概要は以下のとおりです。

## 貸借対照表(B/S) 期末(3月31日)における大学の資産等の保有状況

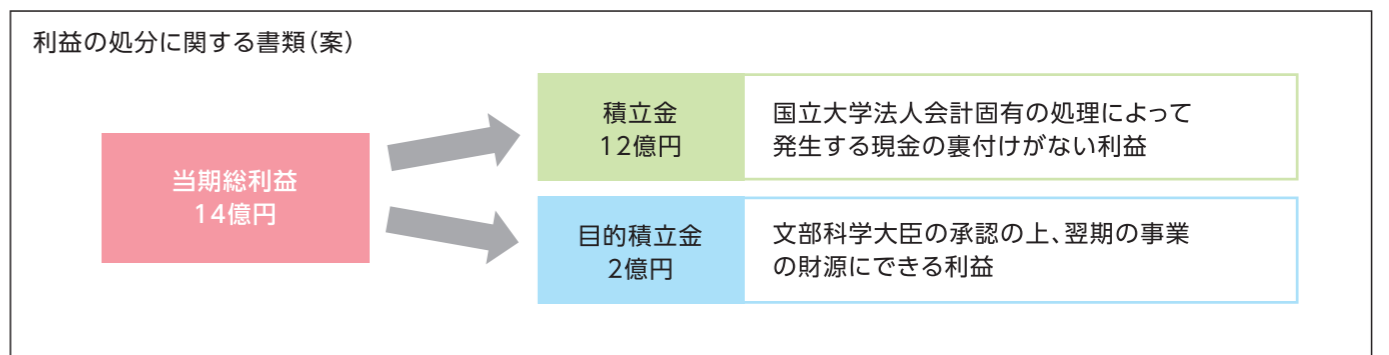


平成28年度は、減価償却の進行による固定資産の減少、未払金の支払い等による流動資産の減少により、資産が84億円減少しました。

## 損益計算書(P/L) 1事業年度(4月1日から翌3月31日)における大学の運営状況



平成28年度の当期総利益は14億円となります。しかし…



※詳細は12ページ以降をご覧ください。

儲かってるわけ  
ではありません

クラーク君



# 北大の財務構造

北大にいくらお金が入ってきて、それを何に使ったか、国と同様の基準で作成される決算報告書(現金主義)を元に表しています。国立大学法人特有の会計処理を行った結果である、損益計算書(発生主義)とは一致しません。

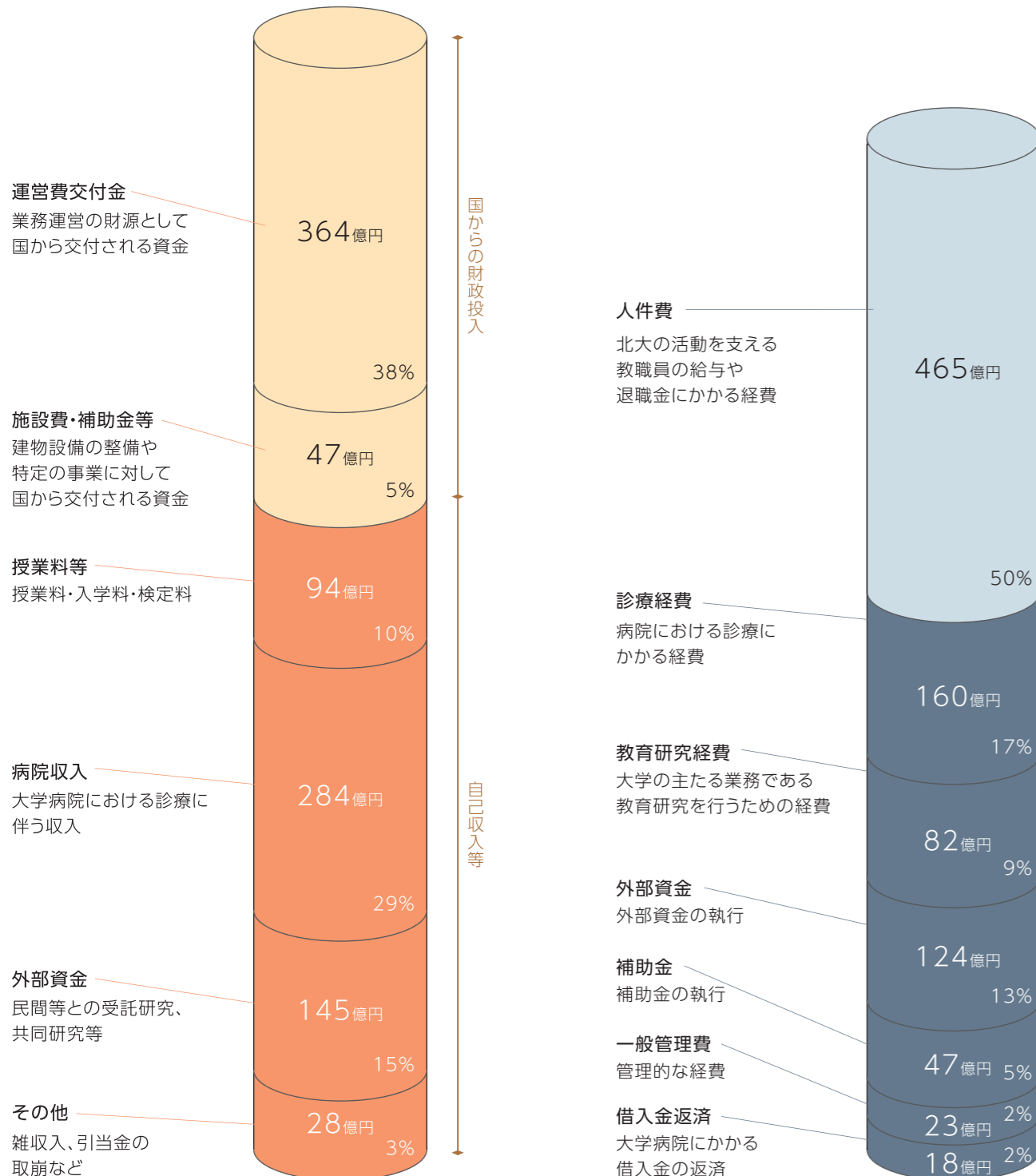
国からの財政投入と自己収入等、およそ半々で運営資金を賄っており、支出の約半分が人件費であることが特徴です。

**収入:964億円**

国からの財政投入と自己収入が半々

**支出:923億円**

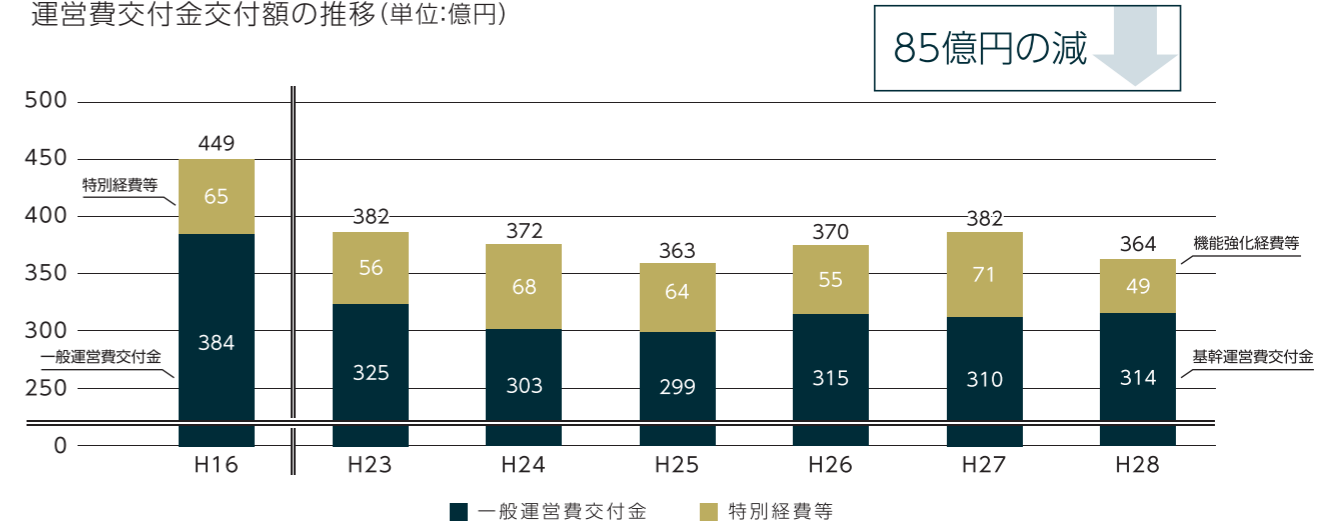
約半分を人件費が占める



# 収入内訳の推移

## ポイント1 運営費交付金は毎年削減

運営費交付金交付額の推移(単位:億円)



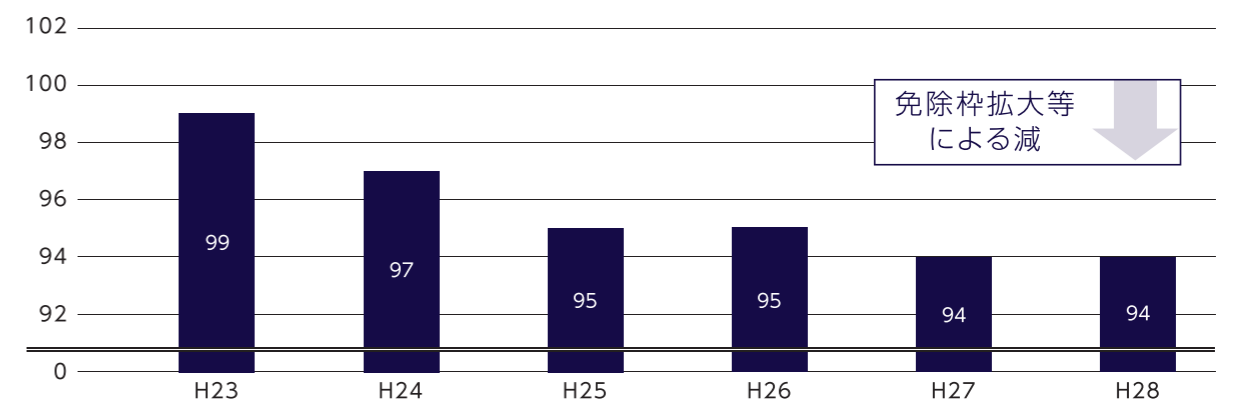
国から交付される運営費交付金は、毎年削減される仕組みになっており、法人化当初の平成16年度と比較すると85億円も削減されています。

このため、経営の効率化を図り、外部資金等の自己収入の増収策を講じる必要があります。

※各年度に交付された金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の運営費交付金収入(P4)や業務の進行度に応じ計上される損益計算書上の運営費交付金収益(P13)とは一致しません。  
 ※平成28年度から運営費交付金の各名称が変更されています。

## ポイント2 学生納付金収入は免除制度の拡充により減少傾向

学生納付金収入の推移(単位:億円)

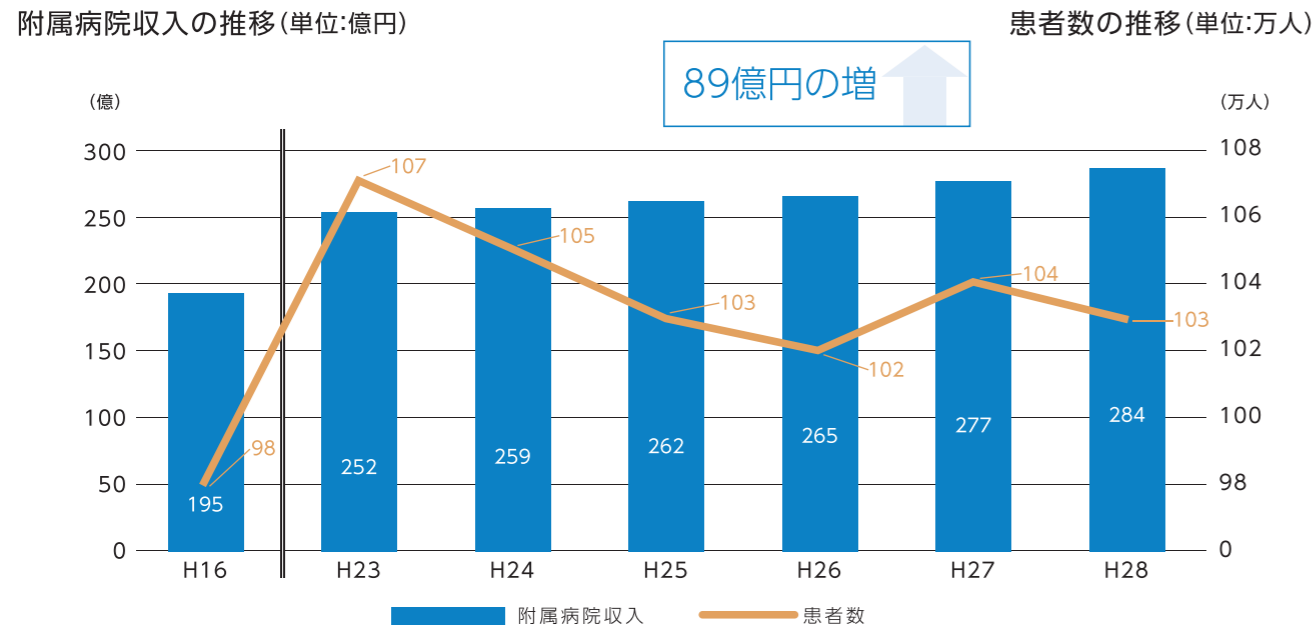


学業優秀でありながら、経済的に恵まれた環境にない学生に対しては、入学金及び授業料の全額または一部を免除する制度があります。

国からの支援もあり、平成28年度も引き続き、授業料の免除枠を拡大しました。

## 収入内訳の推移

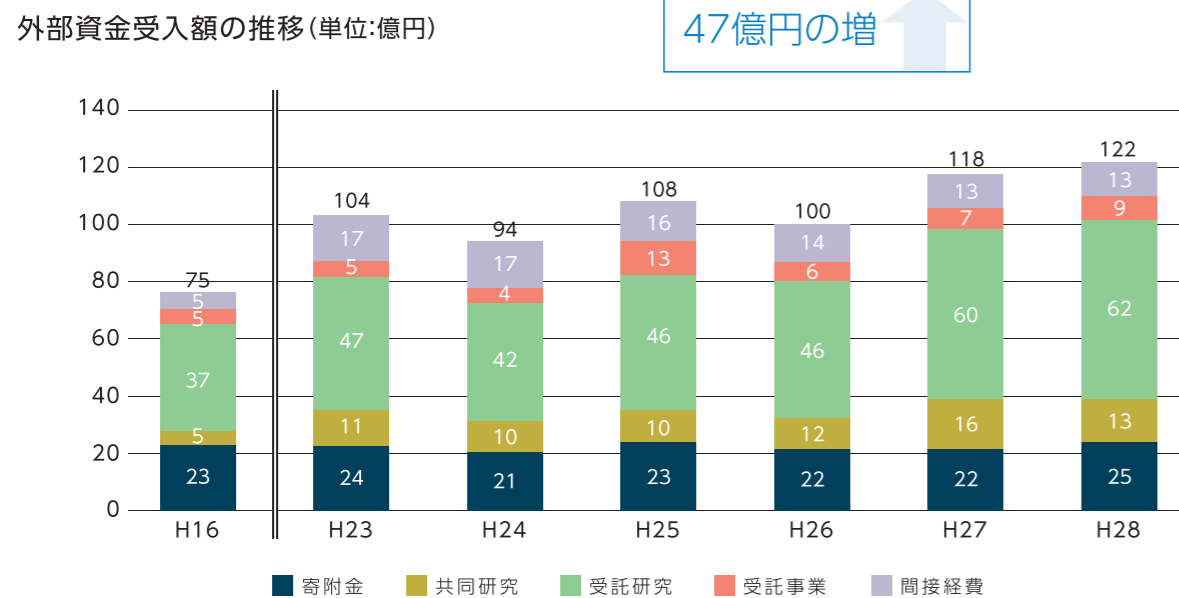
### ポイント3 大学病院の経営努力により病院収入は増加しています



大学病院は、医療人材を養成し、高度医療の提供や、新治療法の研究開発を通じ、安心安全な国民生活を実現する使命を負っており、利益のみを追求しているわけではありません。

北大病院は、これらの使命を着実に果たしつつ、経営の効率化とともに様々な病院収入の増加に努めています。

### ポイント4 外部資金の獲得拡大に取り組んでいます

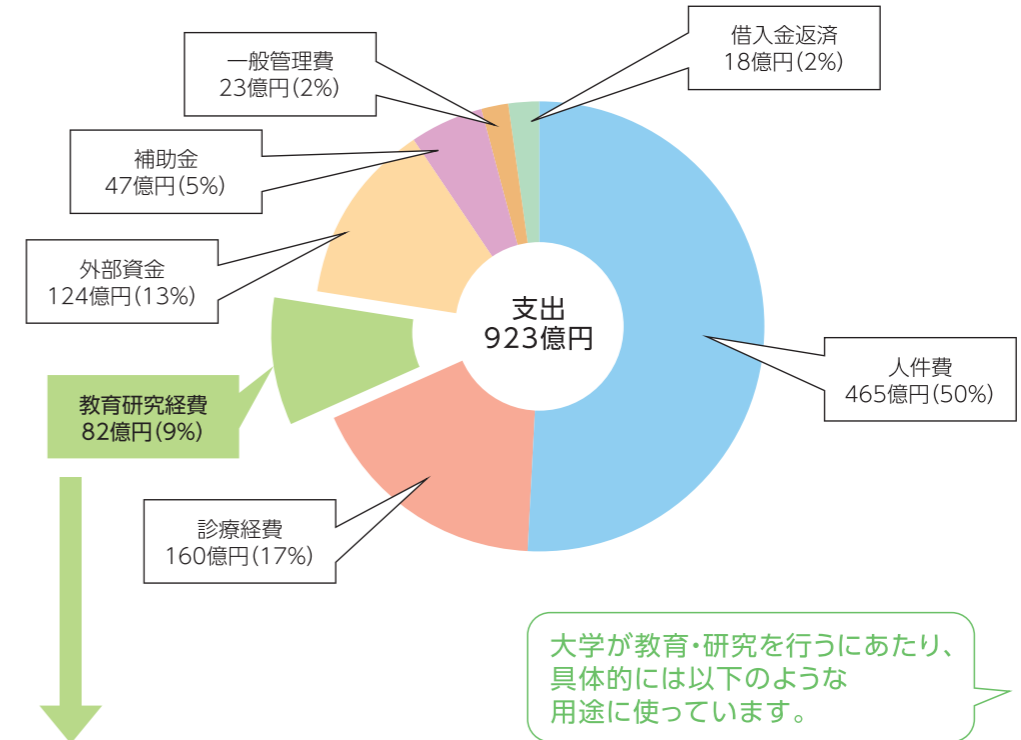


国立大学の事業拡大のためには、民間等の資金を受入れて研究等を行う外部資金の獲得が重要となります。北大においても、研究者が企業等にシーズの発表を行う説明会を開催する等、外部資金の獲得拡大に取り組んでいます。

※各年度に受入した金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の外部資金収入(P4)とは一致しません。

## 支出の内訳

### 支出の内訳(決算報告書より)



大学が教育・研究を行うにあたり、具体的には以下のような用途に使っています。



### 教育研究経費の内訳

費目	説明	金額
設備・備品費	教育・研究を行うため設備や機器を購入しています。	8億円
業務委託費	大学運営にあたり業者に業務を委託した金額。清掃や警備の委託費があたります。	13億円
消耗品費	試薬等、すぐに費消してしまうものを購入した場合、この費目を計上します。	10億円
水道光熱費	水道や電気ガス代など。	9億円
旅費交通費	教員の学会出席やフィールドワークのための交通費。	11億円
図書費	教育研究に欠かせない資料である書籍など。	9億円
保守・修繕費	教育・研究機器や設備の保守や故障した場合の修理費。	9億円
その他	機器のリース料や授業料免除にかかる費用など。	12億円
<b>合計</b>		<b>82億円</b>

300万点を超える学術標本や資料を収蔵

特集

# 総合博物館リニューアル～北大のすべてを魅せる～



1

北大の魅力が溢れています。  
より愛される大学博物館を目指します！

2016年7月のリニューアルオープン以降、来館者は以前の2倍のペースで増加、1年間で20万人を超えました。高校生、家族連れ、国内外の観光客に加え、北大生の来館も増加しています。来館者の方々からは「明るくなった」「じっくりと落ち着ける」「利用しやすくなった」等の感想をいただき、「愛される博物館」の実現に向けて良いスタートになりました。イベントやセミナーでの利用も増えていきます。

12学部の展示を各局部と共に展開することで、学内での認知が高くなり、高校生や北大新入生からは、教育・研究内容がよくわかり、入試や学部選択の参考になると評判です。

北大総合博物館は日々進化することを目指しています。企画展示を定期的を開催するだけでなく、常設展示である学部展示や北大の一押し研究の展示も更新しています。「知の交流」を楽しみに何度でもお気軽にご来館ください。



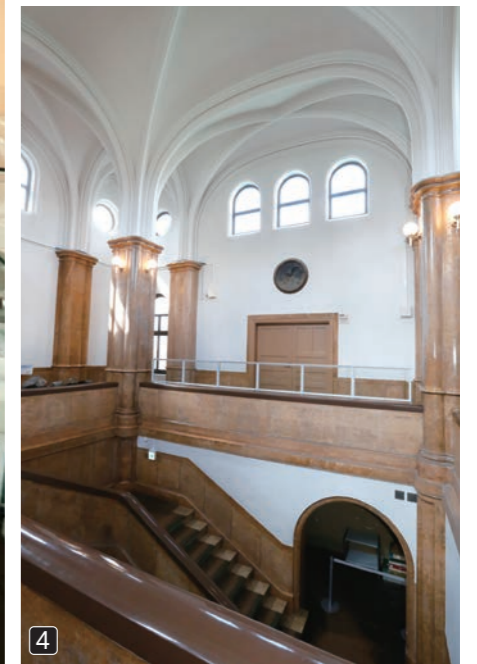
北海道大学総合博物館  
館長 中川 光弘



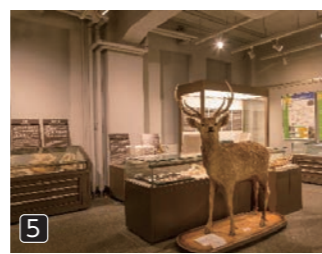
2



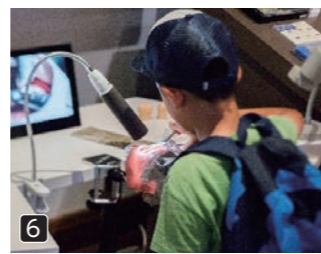
3



4



5



6



10



11



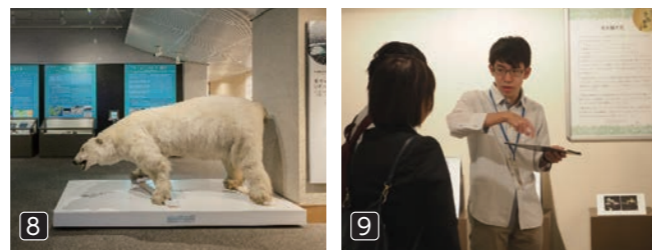
12



13



7



8



14

- 1 マンモスの原寸大レプリカ
- 2 古生物標本の世界
- 3 歴史的建築(旧理学部本館)を利用した総合博物館
- 4 アインシュタイン・ドーム
- 5 獣医学部展示
- 6 歯科実習を体験できる歯学部展示
- 7 クイズ形式で研究を紹介、「食と健康の達人」拠点展示
- 8 北極域研究センター展示
- 9 北大生による展示解説は利用者サービスと学生教育の場
- 10 鉱物・岩石標本の世界
- 11 標本に触れられるハンズオン展示
- 12 車椅子対応の出入口とウッドデッキを新設
- 13 ちょっと一休みにミュージアムカフェ「ぼらす」
- 14 北大総合博物館オリジナルグッズが充実、ミュージアムショップ

## 北海道大学総合博物館

**開館時間** 10:00-17:00  
10:00-21:00(6～10月の金曜日のみ)

**休館日** 月曜日、12月28日～1月4日  
(月曜が祝日の場合は開館、翌平日休館)  
※大学行事等により臨時開館・休館有。

**入館料** 無料

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
TEL 011-706-2658 FAX 011-706-4029  
<http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

北大総合博物館

# トピックス

## 教育・研究関係

### 【3つの国際大学院の設置】(H28.8認可)

本学の強み・特色を活かした国際連携研究及び教育を推進するため、平成29年4月に、医理工学院、国際感染症学院、及び国際食資源学院を開設しました。

#### 医理工学院

理工学の発展を医学に応用するための新たな学問分野「医理工学」を確立し、量子力学から発展した放射線物理学、又は生体の分子挙動に関する理工学を医学に応用できる研究者、技術者を養成します。

#### 国際感染症学院

国際感染症学院は、エボラウイルス病等の人獣共通感染症に関する高度な専門知識と問題解決のための幅広い見識を備え、我が国のみならず世界の感染症研究の発展ならびに感染症の制圧に寄与できる次世代のリーダーを育成します。

#### 国際食資源学院

地球規模で拡大する様々な食資源問題に対し、具体的な解決策を提示し実践できる、行動力・融合力・組織力・基礎的な問題解決力を備えた国際的リーダーとなる人材を養成します。

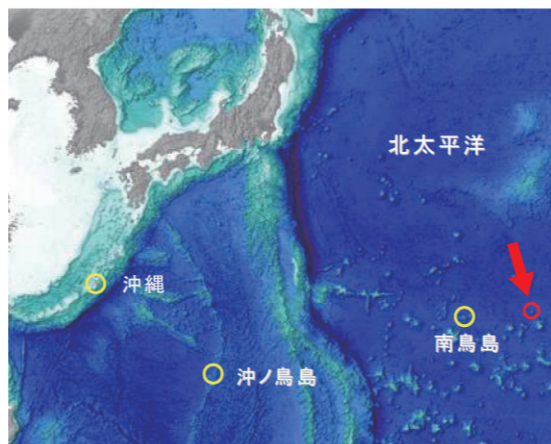
### 【本学名誉教授の名を冠した海底地形名を国際会議が承認】(H28.9)

世界の海底地形名を定める国際会議※において、日本提案の海底地形名23件が承認され、このうちの1件は、海洋における物質循環やCO<sub>2</sub>による地球温暖化とそれに伴う海洋における生物地球科学的变化に関する研究に従事し、海洋化学、地球環境科学の進展に貢献された、故 角皆静男北海道大学名誉教授に因み、「角皆海山(Tsunogai Seamount)」と名付けられました。

※海底地形名小委員会：  
国際水路機関とユネスコ政府間海洋学委員会の傘下であり、世界の海底地形名を公式に定める国際会議

### 【『食と健康の達人。』拠点がおいしい健康デザートを開発】(H28.11)

北海道大学COI『食と健康の達人。』拠点は、北海道、岩見沢市の地域の素材を活用したご家庭でも入院中でもおいしく食べることのできるデザートを開発し、北海道大学病院栄養管理部、岩見沢市及び岩見沢市内の菓子店である赤いリボンと共同で開発しました。今回のデザートを第一弾として、COIの研究成果や知見を活用した商品・サービスについて『食と健康の達人。』ブランドとして展開を開始します。



# トピックス

### 【国内最大の全身恐竜骨格を発見(むかわ竜)】(H29.4)

本学総合博物館では北海道むかわ町穂別博物館と共同で、穂別地域から白亜紀末のハドロサウルス科恐竜化石の発掘・調査・研究を行っています。

このたび、この恐竜化石(通称:むかわ竜)が、全身骨格(8メートル以上)であることを確認しました。

海の地層から発見されたハドロサウルス科全身骨格は世界的にも稀で、正式に命名されているのはニッポソウルスのみであり、未記載の標本を加えても世界で3例目です。

国内では、国内最大の恐竜全身骨格となります。また、白亜紀後期の恐竜全身骨格、植物食の恐竜全身骨格、海成層から発見された恐竜全身骨格として、いずれも日本初です。



写真提供:むかわ町穂別博物館

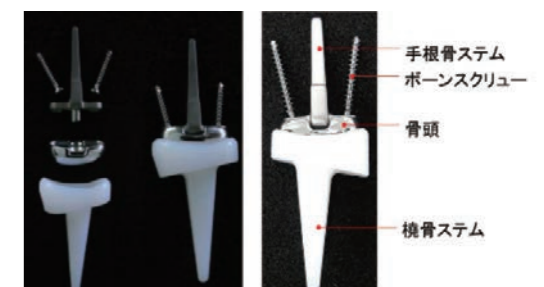
## 病院関係

### 【産学官協働による国内初の人工手関節が承認】(H28.10)

国内医療機器メーカーの帝人ナカシマメディカル株式会社と共同で、関節リウマチ等により手首の関節(手関節)が破壊された患者の治療に用いる人工手関節(製品名 DARTS人工手関節)の開発に国内で初めて成功しました。

痛みを取り除くと同時にこれまで犠牲にされていた手関節の動きも改善し、患者さんの生活の質が大きく向上します。

また、大学発の医療機器開発という点でも非常に意義深い成果となりました。



## 受賞等

### 【第13回日本e-Learning大賞(特別部門賞)を受賞】(H28.10)

本学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンターは、第13回日本e-Learning大賞において、オープンエデュケーション特別部門賞を受賞しました。

日本 e-Learning大賞は、企業・自治体・団体における e-Learning を用いた生産コストダウン・生産性向上・業務改革、また学校・個人においては新しい学習の可能性・学力向上に役立つ様々なコンテンツ・サービス、ならびにソリューションに対する功績に与えられるもので、本学の「OERを活用した教育改善を推進する 北海道大学オープンエデュケーションセンターの活動」は、OER(Open Educational Resources)を活用した教育改善が高く評価されたものです。

### 【IAUラーニング・バッジを世界初認証】(H28.11)

本学は、国際大学協会(IAU)の「大学国際化のための助言サービス(ISAS2.0)」を活用し、本学の国際化戦略「Hokkaido ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ(HUCI)」に焦点を当てた自主点検を実施し、世界で初めて「IAUラーニング・バッジ」の認証を受けました。



2016-2021

# 財務諸表の説明

## 貸借対照表(B/S)

貸借対照表は、年度末(3月31日)における本学の財政状況(資産、負債及び純資産の状況)を表します。(単位:百万円)

資産の部				負債の部			
	平成27年度	平成28年度	増減		平成27年度	平成28年度	増減
I 固定資産	272,862	265,200	△7,662	I 固定負債	62,095	57,055	△5,040
1 有形固定資産	269,508	260,951	△8,557	資産見返負債	53,921	51,325	△2,596
土地	128,142	128,141	△1	債務負担金	4,230	2,843	△1,387
建物	88,900	84,460	△4,440	引当金	325	360	35
構築物	2,478	2,278	△200	長期未払金	2,650	1,545	△1,105
工具器具備品	20,700	16,653	△4,047	資産除去債務	966	980	14
図書	22,571	22,561	△10	II 流動負債	23,377	23,326	△51
美術品・収蔵品	327	327	0	運営費交付金債務	0	1,228	1,228
船舶	5,749	5,187	△562	寄附金債務	7,003	7,794	791
その他	637	1,339	702	前受受託研究費等	1,395	1,584	189
2 無形固定資産	725	650	△75	1年以内返済債務負担金	1,646	1,387	△259
ソフトウェア	308	247	△61	未払金	10,485	8,592	△1,893
その他	417	401	△16	その他	2,844	2,734	△110
3 投資その他の資産	2,627	3,598	971	資産合計	85,472	80,381	△5,091
投資有価証券	2,227	3,141	914				
その他	399	456	57				
II 流動資産	23,007	22,227	△780				
現金及び預金	5,576	10,033	4,457				
未収学生納付金収入	135	153	18				
未収附属病院収入	5,319	5,045	△274				
未収入金	1,267	1,284	17				
有価証券	10,004	4,900	△5,104				
たな卸資産	30	46	16				
医薬品及び診療材料	489	548	59				
その他	184	214	30				
資産合計	295,870	287,427	△8,443				

注)各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

### 主な増減要因

#### 【資産】

有価証券：△5,104 百万円

※譲渡性預金及び金銭信託の減

建物：△4,440 百万円

※減価償却累計額の増

現金及び預金：+4,457 百万円

※譲渡性預金及び金銭信託の減に伴う預金増

#### 【負債】

資産見返負債：△2,596 百万円

※資産見返補助金等の減

未払金：△1,893 百万円

※4月支払物件費等の減

運営費交付金債務：+1,228 百万円

※27年度は、運営費交付金の精算のための収益化を行ったため

### 会計メモ① 企業会計のBSとの違い

国立大学法人会計では、運営費交付金等を受領した際、直ちに収益とせず、教育研究の義務を負ったと考え、いったん運営費交付金債務(負債)とします。また、資産の購入にあてた運営費についても資産見返負債とします。これらは、損益均衡のための仕組みであり、教育研究の実施や減価償却の進行に応じて、収益化していきます。

### 会計メモ② 企業会計のPLとの違い

企業会計では、利益に直結する売上高(収益)を重視しているのに対し、国立大学法人会計では業務の遂行状況がわかる費用を重視しています。また説明責任を果たすという観点及び法人の特色ある発展に向けての検討に寄与するという観点から、教育研究などの目的別に分類表示することが求められています。

# 財務諸表の説明

## 損益計算書(P/L)

損益計算書は、一会計期間の運営状況を表したものです。(単位:百万円)

費用				収益			
	平成27年度	平成28年度	増減		平成27年度	平成28年度	増減
I 経常費用	96,486	94,528	△1,958	I 経常収益	99,533	95,358	△4,175
業務費	93,006	91,252	△1,754	運営費交付金収益	38,201	35,020	△3,181
教育経費	5,928	5,409	△519	学生納付金収益	9,563	10,033	470
研究経費	12,170	9,655	△2,515	附属病院収益	28,239	28,246	7
診療経費	17,066	17,216	150	受託研究収益	7,269	6,163	△1,106
教育研究支援経費	2,078	1,655	△423	共同研究収益(※2)	-	1,377	1,377
受託研究費	7,291	6,025	△1,266	共同事業等収益	752	1,040	288
共同研究費(※1)	-	1,363	1,363	寄附金収益	2,104	2,162	58
受託事業費	748	1,021	273	施設費収益	1,627	98	△1,529
人件費	47,723	48,903	1,180	補助金収益	3,359	2,691	△668
一般管理費	3,134	3,010	△124	資産見返負債戻入	5,672	5,442	△230
財務費用	344	264	△80	財務収益	27	10	△17
雑損	0	0	0	雑益	2,714	3,069	355
II 臨時損失	1,742	98	△1,644	II 臨時利益	751	75	△676
費用合計	98,228	94,626	△3,602	収益合計	100,284	95,433	△4,851
当期総利益	2,283	1,464	△819	目的積立金等取崩額	228	656	428
計	100,512	96,090	△4,422	計	100,512	96,090	△4,422

※1 28年度より、受託研究費と共同研究費が区分されております。

※2 28年度より、受託研究収益と共同研究収益が区分されております。

注)各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

### 主な増減要因

#### 【経常費用】

研究経費：△2,515 百万円

※前年度からの繰越事業がないため

臨時損失：△1,644 百万円

※ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理委託の減

人件費：+1,180 百万円

※年俸制の導入、人員の増

#### 【経常収益】

運営費交付金収益：△3,181 百万円

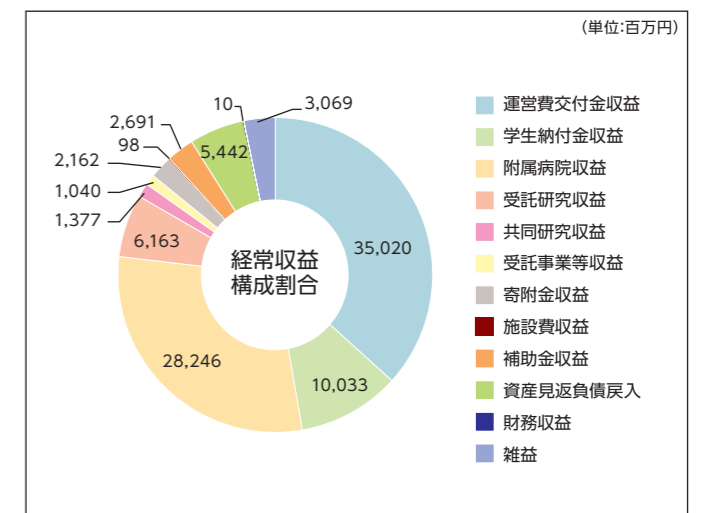
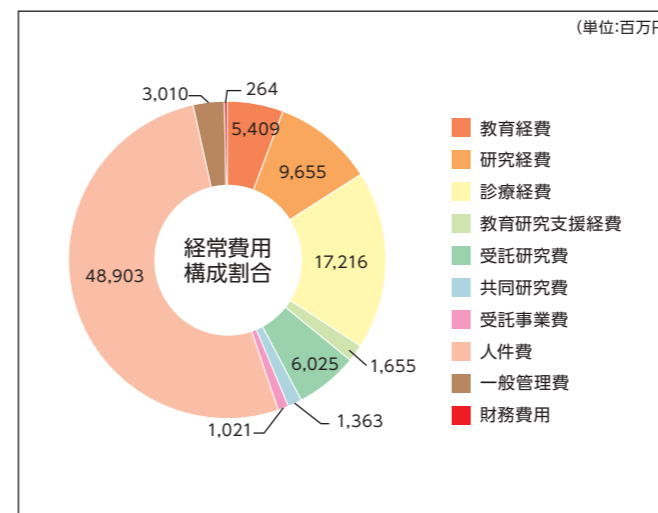
※交付額の減

施設費収益：△1,529 百万円

※交付額の減

臨時利益：△676 百万円

※27年度は、運営費交付金の精算のための収益化を行ったため



### 会計メモ③ 資産見返負債戻入

メモ①で説明したとおり、国立大学法人会計では、資産の購入に充てた運営費等は、資産見返運営費等とし、購入時点では、その分の収益を認識しません。その後、減価償却費と同額の資産見返負債戻入を計上することで損益を均衡させます。民間企業と異なり、購入した資産は教育研究に使用され、利益を生み出すものではないため、このような処理を行います。



# 財務諸表の説明

## キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間のお金の流れを表します。

		(単位:百万円)		
	説明	平成27年度	平成28年度	差額
I	業務活動によるキャッシュ・フロー	6,227	7,514	1,287
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,577	353	5,930
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,687	△3,410	277
IV	資金に係る換算差額	—	△0	△0
V	資金増加額 (I+II+III+IV)	△3,037	4,457	7,494
VI	資金期首残高	8,614	5,576	△3,038
VII	資金期末残高 (V+VI)	5,576	10,033	4,457

注)各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

## 利益の処分にに関する書類(案)

損益計算の結果、当期に発生した利益の処分について明らかにしたものです。

		(単位:百万円)		
	平成27年度	平成28年度	差額	
I	当期末処分利益	2,283	1,464	△819
	当期総利益	2,283	1,464	△819
II	積立金振替額(※)	20,084	0	△20,084
	前中期目標期間繰越積立金	20,084	0	△20,084
III	利益処分額	22,368	1,464	△20,904
	目的積立金(教育研究向上及び組織運営改善積立金)	0	255	255
	積立金	22,368	1,209	△21,159

(※)積立金振替額は中期目標期間の最終年度のみ発生

注)各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

## 国立大学法人等業務実施コスト計算書

大学運営にかかる国民負担額を明らかにしたものです。損益計算書の費用から自己収入を控除し、損益計算書に計上されないコストや機会費用を加味して算出します。

		(単位:百万円)		
	平成27年度	平成28年度	差額	
I	業務費用	46,467	41,888	△4,579
	(1) 損益計算書上の費用	98,228	94,626	△3,602
	(2) (控除) 自己収入等	△51,761	△52,737	△976
II	損益外減価償却相当額	4,552	4,944	392
III	損益外減損損失相当額	30	0	△30
IV	損益外利息費用相当額	△55	2	57
V	損益外除売却差額相当額	△17	△0	17
VI	引当外賞与増加見積額	△55	△45	10
VII	引当外退職給付増加見積額	738	△212	△950
VIII	機会費用	21	131	110
	・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	21	19	△2
	・政府出資の機会費用	0	112	112
IX	(控除) 国庫納付額	—	—	—
X	国立大学法人等業務実施コスト	51,680	46,710	△4,970

注)各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

北大の1年間の運営にかかる国民一人当たりのコスト

業務実施コスト 467億円

人口 1億2,682万人

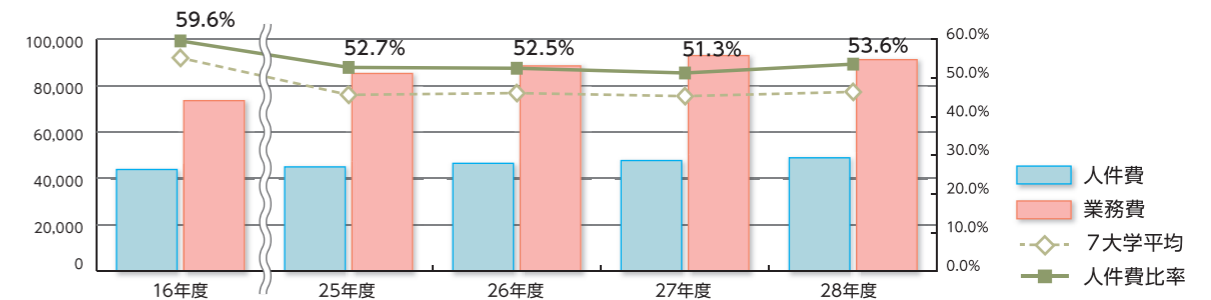
一人当たり 368円

(算出方法)  
業務実施コスト467億円÷人口1億2,682万人  
人口:平成29年1月1日現在(総務省統計局データより)

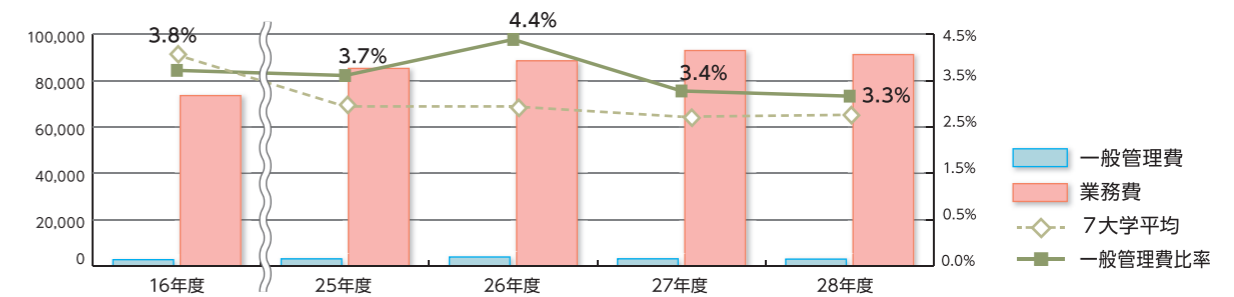
# 財務指標

財務指標を算出し、他大学等と比較することで、本学の置かれた位置を把握することができます。本学では、主な財務指標について、本学及び同規模大学(東北大、東京大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大)の平均と比較して、経営判断に役立てています。

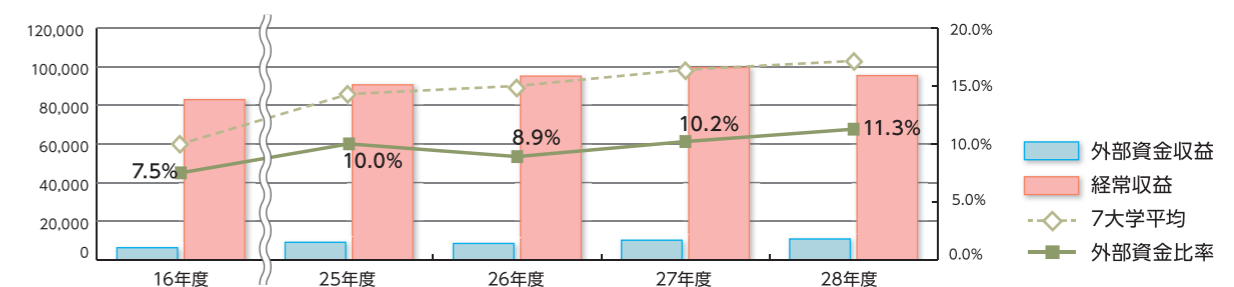
			(単位:百万円)		
内容	財務指標	項目	26年度	27年度	28年度
			① 人件費比率	(46.1%) 52.5%	(45.3%) 51.3%
業務費に占める人件費の割合を示す指標であり、比率が低いほど効率性が良いことを示します。	人件費÷業務費	人件費	46,518	47,723	48,903
		業務費	88,566	93,006	91,252



			(単位:百万円)		
内容	財務指標	項目	26年度	27年度	28年度
			② 一般管理費比率	(3.1%) 4.4%	(2.9%) 3.4%
業務費に占める一般管理費の割合を示す指標であり、比率が低いほど効率性が良いことを示します。	一般管理費÷業務費	一般管理費	3,927	3,134	3,010
		業務費	88,566	93,006	91,252



			(単位:百万円)		
内容	財務指標	項目	26年度	27年度	28年度
			③ 外部資金比率	(15.0%) 8.9%	(16.4%) 10.2%
経常収益に占める外部資金の割合を示す指標であり、比率が高いほど外部資金の受入が拡大していることを示します。	外部資金収益÷経常収益	外部資金収益	8,440	10,127	10,744
		受託研究収益	5,705	7,269	6,163
		共同研究収益	—	—	1,377
		受託事業等収益	570	752	1,040
		寄附金収益	2,163	2,104	2,162
		経常収益	95,086	99,533	95,358

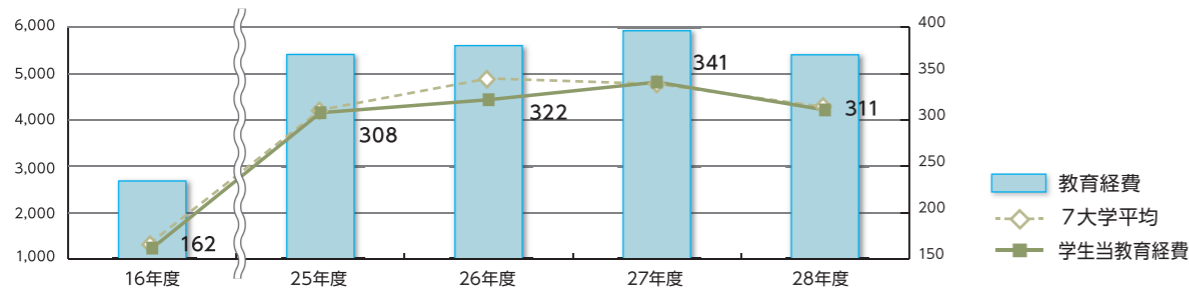


・上段( )書きは各年度の旧7帝大学平均

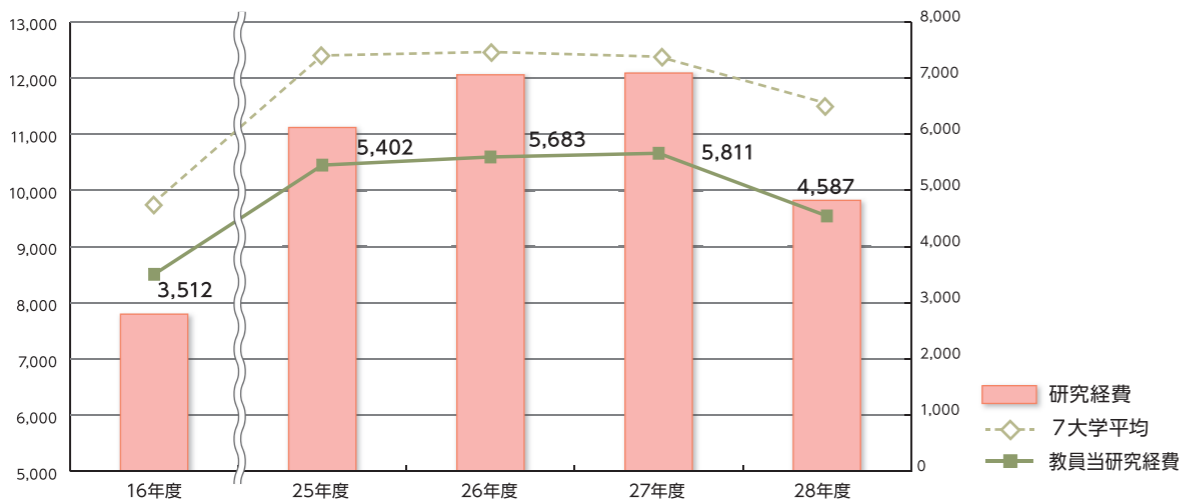
# 財務指標

(単位:百万円)

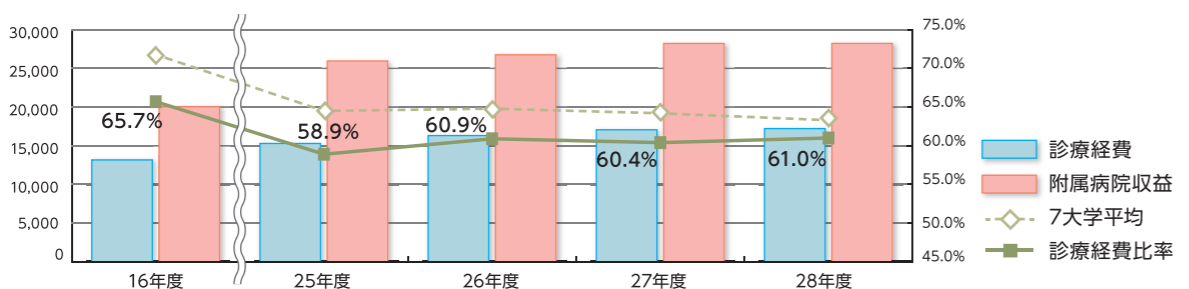
財務指標			26年度	27年度	28年度
内容	計算式	項目			
<b>④ 学生当教育経費 (千円)</b>			(345千円) <b>322千円</b>	(339千円) <b>341千円</b>	(314千円) <b>311千円</b>
学生一人当たりの教育経費を示す指標であり、この数値が高いほど学生一人当たりにかかれた教育経費が大きいことを示します。	教育経費÷学生数	教育経費	5,607	5,928	5,409
		学生数 (人)	17,420	17,367	17,414



⑤ 教員当研究経費 (千円)			(7,429千円) <b>5,683千円</b>	(7,266千円) <b>5,811千円</b>	(6,592千円) <b>4,587千円</b>
内容	計算式	項目			
教員一人当たりの研究経費を示す指標であり、この数値が高いほど教員一人当たりにかかれた研究経費が大きいことを示します。	研究経費÷常勤教員数	研究経費	12,110	12,170	9,655
		教員数 (人)	2,131	2,094	2,105



⑥ 診療経費比率			(64.8%) <b>60.9%</b>	(64.2%) <b>60.4%</b>	(63.3%) <b>61.0%</b>
内容	計算式	項目			
人件費を除く診療活動に要する経費が病院収益に占める割合を示す指標であり、この比率が低いほど大学病院の収益力が高いことを示します。	診療経費÷附属病院収益	診療経費	16,314	17,066	17,216
		附属病院収益	26,774	28,239	28,246



・上段( )書きは各年度の旧7帝大学平均

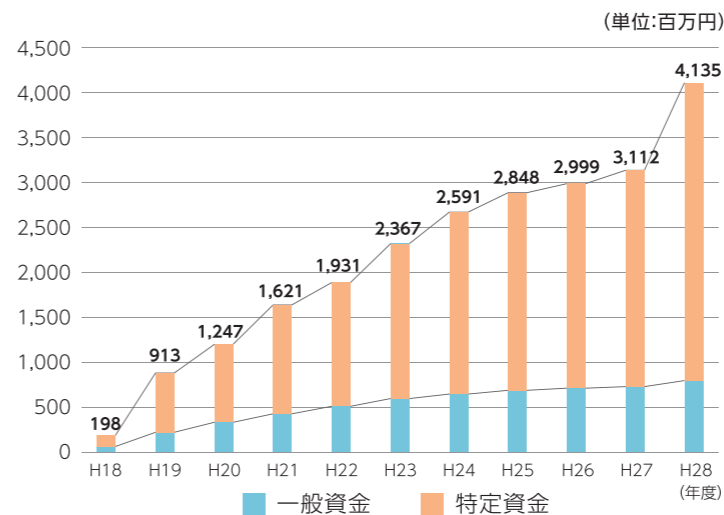
# 北大の教育研究の充実のためには皆様の支援が必要です。 北大フロンティア基金の取組み

## フロンティア基金とは?

運営費交付金が削減される等、国立大学を取り巻く状況が厳しさを増す中、北大が自主・自立的な大学運営を行い、社会へより貢献していくため、皆様のご支援を必要としております。

そのため、北大はフロンティア基金を創設し、**目標を50億円**に設定、平成18年10月から寄附の募集を開始しました。

## 基金の状況



平成29年3月で累計約41億円のご寄附を賜りました。いただいたご支援によりさまざまな事業活動を行っております。

※平成28年度の特定資金には、クラーク記念財団からの承継分677百万円を含む。

クラーク君

## 主な活動

- 学生支援  
新渡戸カレッジ(海外留学)渡航支援、奨学金、課外活動支援、就職活動支援等
- 学部等支援  
講堂整備、教育関連設備の整備等
- 留学生・国際交流支援  
生活困窮学生に対する経済的支援、外国人受入環境整備事業等



新渡戸カレッジ交換留学

## 寄附の種類

北大フロンティア基金は、用途を特定しない「一般資金」と、寄附者の意思により具体的な用途を特定した「特定資金」から構成されています。

## 寄附方法

### ○クレジットカード

北大フロンティア基金HPの寄附申込フォームからお申しいただけます。

### ○郵便振替・銀行振込

EメールかFAXで必要事項(住所・氏名・電話番号)をお知らせください。ご案内の封書をお届けします。

## 【税法上の優遇措置等について】

北海道大学は所得税法上の寄附金控除の対象となる法人、また、法人税法上、**寄附金額の全額損金算入が認められる法人**として財務大臣の指定を受けています。また、一部の地方自治体から寄附金税額控除対象法人として指定されています。一般の寄附金よりも寄附者の税制上の優遇措置が拡大されています。くわしくは下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先

北大フロンティア基金事務局  
〒060-0808 札幌市北区北8西5

TEL:011-706-2017  
FAX:011-706-2092

kikin@jimuhokudai.ac.jp  
http://www.hokudai.ac.jp/fund/



## 財務レポート2017

発行 北海道大学財務部主計課財務管理室  
所在地 〒060-0808 札幌市北区北8西5  
電話 011-706-3991  
メール zaikan@finance.hokudai.ac.jp  
発行年月 平成29年10月

以下は広告欄です。内容については広告主にお問い合わせください。

**NISSEICOM**  
Grow Together for Making the Future

**GrowOne 財務会計**

国公立大学を中心に豊富な  
導入実績を誇る財務会計システムです。

株式会社 ニッセイコム 〒140-8511 東京都品川区大井 1-47-1NTビル TEL : 03-5742-7387 URL : [www.nisseicom.co.jp](http://www.nisseicom.co.jp)